

睡眠時無呼吸症候群検査入院（1泊2日）のご案内

<睡眠ポリグラフ検査について>

睡眠時無呼吸症候群の疑いがある方は、睡眠ポリグラフ検査をお勧めします。

目的：治療方針の決定、および他の類縁疾患の鑑別

検査内容：脳波、呼吸の状態、心電図、筋電図、いびき音など10以上の項目からなる複雑な検査です。脳波をとるため、頭部にネットを被っていただき、胸部や腹部にベルトを付けていただきます。その他、手や足に電極がつけます。

追記：いびきをかく方が多いことや、睡眠環境を整える必要があるため、**個室**を使います。**なお、当院は日本睡眠学会の認定施設になっており、検査の個室は日本睡眠学会の推奨する要件を満たしています。**



<検査費用>

1泊入院検査の費用は、3割負担の方で、**約3万円前後**になります。一晩で10項目以上からなる膨大な検査データから、極めて詳細な結果が得られます。割高感があるかと思いますが、御理解ください。

<治療について>

検査の結果、睡眠時無呼吸症候群と診断された方は、結果に応じてシーパップ(CPAP=鼻マスク式陽圧呼吸器)、あるいはマウスピース治療、ないし耳鼻科的治療を行うこととなります。シーパップは結果説明の当日に、マウスピースは当院の歯科の先生をご紹介します。

(裏面もご確認下さい)

<入院の流れ>

- 1) 入院当日は**午後3時まで**に入院受付を済ませて下さい。6階の内科病棟にご案内致します。
- 2) 病棟オリエンテーションがあります。必要に応じて、胸部 X 線、呼吸機能などの検査を行うことがあります。
- 3) 午後8時くらいから、睡眠ポリグラフ検査装置の装着が始まり、9時くらいに就寝となります。なお、場所が変わると寝付けない方、睡眠剤を常用している方は、前もってご相談ください。
- 4) 起床した時点で検査終了となります。しかし、検査時間が4時間に満たない場合はもう少し寝ていただきます。
- 5) 翌朝、9時半くらいに帰宅可能です。都合により早い退院を希望される方はお申し出ください。また、血液や尿検査を行うことがあります。これは、この疾患に合併症が多くみられるためです。

<備考>

- 1) 万一、検査当日の都合が悪くなった場合は、必ず当院の地域連携センターに連絡してください。
- 2) 既にシーパップ（CPAP＝鼻マスク式陽圧呼吸器）治療やマウスピース治療を受けている方は、入院当日にご使用中の器具をご持参下さい
- 3) 自家用車で来られる方で病院の駐車場の利用希望の方は、入院手続きの際に受付で申し出てください。駐車料金がかからないようにいたします
- 4) 持ち物等については、別途「入院のご案内」をお送りしますので、そちらをごらんください。

なお、検査の結果、睡眠時無呼吸症候群と診断された方は、できるだけこの検査を1年に1回受けて下さい

<他院から直接当院の検査を予約される方へ>

入院前に当院から確認の電話を入れさせていただきます。入院3日前になっても連絡が来ない場合、何らかの手違いで入院手続きが正常に行われていない可能性があります。その際にはお手数ですが、確認の電話を下記までお願いします。

(問合せ先：新潟臨港病院 地域連携センター 直通電話 025-275-2239)